

地域いきいき健康マップ

堅田
地区

produced by 大津市スポーツ推進委員協議会



1 野上神社(勾当内侍の墓)

こうどうのいなし



南北朝時代、足利尊氏に敗れた新田義貞は北陸へ落ち延びる途中に、妻の内侍を堅田に残したまま越前で戦死した。内侍は、この悲報を聞き、悲しみのあまり湖で身を投げ後を追う。のちにその事を知った今堅田の人々は内侍の霊を弔ったという。

2 出島灯台

でけしまのとうだい



灯台が立つ付近は、琵琶湖がもっとも狭まったところで岩礁も多く、明治8年に客船の転覆で乗客47人が亡くなる水難事故が発生した。これを受けて、同年に出島灯台が建てられた。今はモニュメントとして修復保存されている。(大津市有形民俗文化財)

3 祥瑞寺

しょうずいじ



一休和尚が、22歳から34歳まで修行し、悟りを開くとともに一休の道号を授けられたお寺。大徳寺派の高僧、華叟宗曇(かそうそうどん)により開かれ、当初は祥瑞庵といわれている。

4 光徳寺

こうとくじ



蓮如上人とのゆかりが深く、真筆の名号・消息等の遺品や伝説が残されている。中でも宗祖の御真影を三井寺から取り戻すために自らの首を差し出したという「堅田源兵衛親子」の物語は有名で、源兵衛の頭蓋骨が今も安置されている。

5 伊豆神社



平安時代中頃の創建、祭神は大山祇命(おおよまづみのみこと)です。室町時代、堅田大宮ともいわれ、湖上水運に特権をもっていた堅田全域の総鎮守として信仰を集めていた。

6 浮見堂



長徳年間(995年頃)比叡山横川の僧源信が湖上の安全と衆生済度を祈願し建立。「堅田落雁」として近江八景の一つに数えられる名勝。聖観音座像は平安時代の作で重要文化財。芭蕉の句碑がある。

7 神田神社



天暦3年(949)山城国加茂神を分祀し創建された。京都の葵祭の前日に当たる5月14日には、伊豆神社とともに湖魚を下鴨神社に届ける「献饌供御人行列」が古式ゆかしく行われている。祭神は鴨玉依姫命。

8 梅宮神社



鎌倉時代、京都洛西梅宮神社の四柱の神を勧請し、当時衣川の完領であった猪飼道盛により創建され、子授け・安産をはじめとして酒造、縁結びの神として崇められてきた。

9 衣川廃寺跡

きぬがわはいしあと

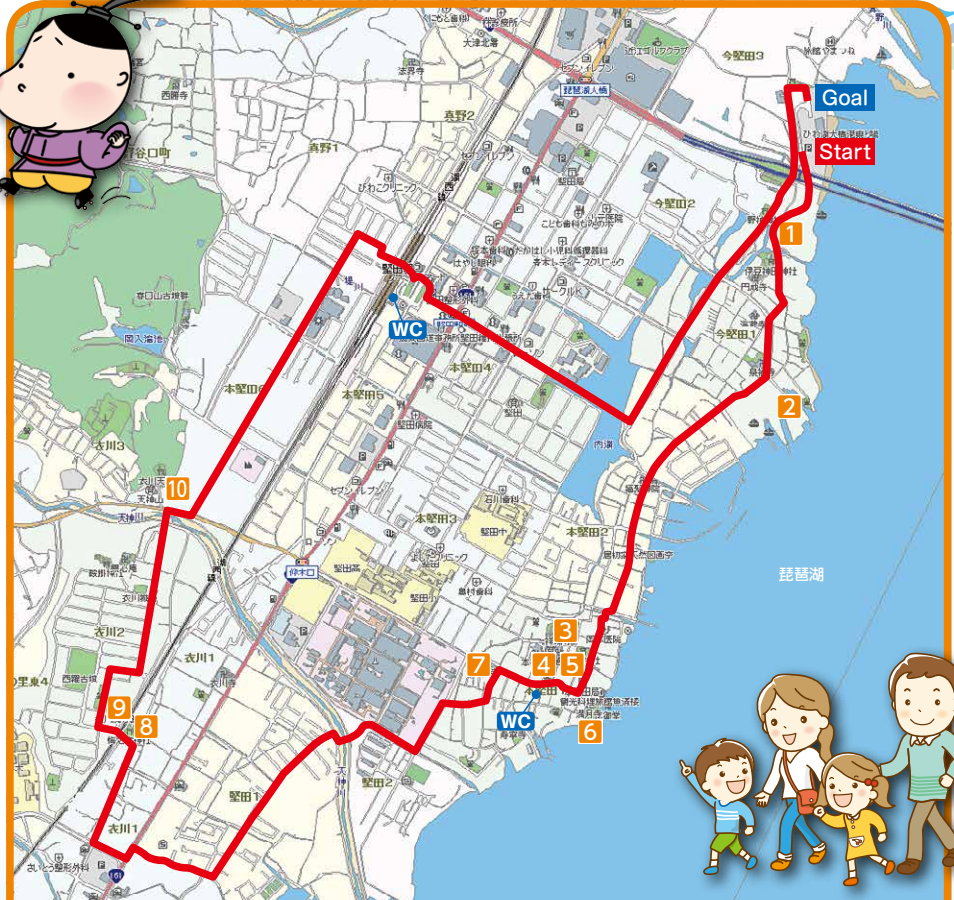


衣川廃寺は7世紀に、近江の地でいち早く建立された古代寺院です。文献などの記録が残っていないこの寺院は、衣川にあった逸名の寺院という意味で衣川廃寺と名付けられた。(国指定史跡)

10 天満神社



天満神社の祭神は菅原道真公。1537年將軍足利義晴が六角氏の居城観音寺城から、この地に道真の像を移し奉ったことに始まると伝えられている。



Start : 道の駅琵琶湖大橋米プラザ Goal : 道の駅琵琶湖大橋米プラザ
距離 : 約9km 目安消費カロリー : 380kcal / 50kg ・ 490kcal / 65kg

